

一般社団法人福島労働基準協会

会長 殿

福島労働基準監督署長



商業における労働災害を防止するための対策の徹底について（要請）

労働基準行政の推進につきましては、日頃から格別の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、福島労働基準監督署管内（以下「当署管内」という。）において、令和 4 年 7 月末日までに受け付けた、商業における休業 4 日以上の労働災害の発生件数は 53 件で、令和 3 年同期の 23 件と比較して 30 件（130%）増加となり、大変憂慮すべき状況となっています。（下図参照）

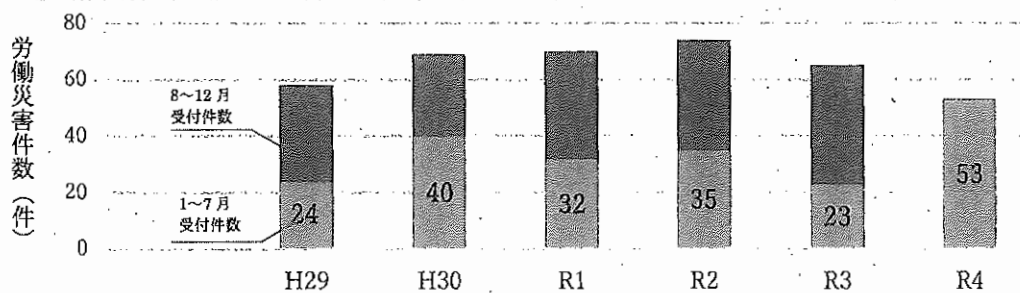


図 当署管内の商業における受付期間別労働災害件数（H29～R4）

つきましては、当署管内の過去 5 年間の商業の労働災害（休業 4 日以上）について、どのような事故が発生しているか分析し、その対策をまとめましたので、別添「商業の皆さん！3つのポイントで労働災害を防止しましょう」に基づいて、労働災害防止活動を実施するよう貴団体の会員事業場に周知くださいますようお願いいたします。

送付資料

- 1 「商業の皆さん！3つのポイントで労働災害を防止しましょう」
- 2 「熱中症は命に関わる問題です！」
- 3 「若い世代の3回目接種推進に向けて」

※熱中症予防、新型コロナワクチンに関するリーフレットも同封いたしますので、参照するよう会員事業場に周知してください。

担当部署 福島労働基準監督署 第2方面  
〒960-8021 福島市霞町1-46  
電話 024-536-4612

# 商業の皆さん！ 3つのポイントで労働災害を防止しましょう



商業の労働災害  
防止にトライ

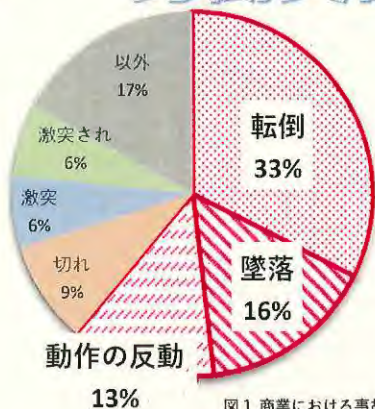


図1. 商業における事故の型別労働災害割合 (福島管内)

福島労働基準監督署管内において、過去5年間の商業の労働災害(休業4日以上)について、どのような事故が発生しているか分析しました。

その結果、左図1のとおり、**転倒(33%)**、**脚立・はしご等からの墜落(16%)**、**荷物を持つとした反動の腰痛・つまづいてバランスを崩した時等の動作の反動(13%)**の災害が多く発生していました。

つきましては、以下の**労働災害防止の3つのポイント**を参考に実施して、労働災害を防止するようお願いいたします。

## ～労働災害防止の3つのポイント～

### 【ポイント1】 転倒災害を防止しましょう

①**職場のパトロールを実施**して、通路に段差、機械、資材等が無いかをチェックポイント(ある(該当)場合は☑)を使用して確認してください。

〈チェックポイント〉

- 通路に配線コード、物はありませんか
- 機械の脚部やホース等が通路に張り出していませんか
- 段差はありませんか
- 傾斜はありませんか
- 水、油、粉などで滑りやすくなっていませんか



配線コードとその対策の例  
「職場のあんぜんサイト」あんぜんプロジェクトから抜粋

②パトロールで確認した結果、☑項目があった場合には**以下の対策を実施**してください。

- 配線コード、物、機械のホース等を通路から移動しましょう
- 移動できない物や段差、傾斜には黄色のテープ等で注意喚起しましょう
- 水、油、粉を清掃し、今後も清掃しやすいように、その近くに掃除用具を配置しましょう



段差に注意喚起をした例  
「職場のあんぜんサイト」あんぜんプロジェクトから抜粋



掃除用具の例  
「職場のあんぜんサイト」あんぜんプロジェクトから抜粋

### 【ポイント2】 脚立、はしごからの墜落災害を防止しましょう

脚立、はしごを使用するときは**以下の対策を実施**してください。

- ①平らで滑りにくい場所に脚立、はしごを設置して使用しましょう
- ②使用前に、試し踏みをして安全を確認してから使用しましょう
- ③ヘルメット(墜落時保護用)を使用しましょう



厚生労働省「はしごを使う前に/脚立を使う前に」から抜粋

### 【ポイント3】 転倒予防や腰痛予防の意識を労働者に持ってもらいましょう

厚生労働省「転倒予防・腰痛予防の取組」のインターネットサイトに掲載している、**注意喚起動画を労働者全員で視聴**しましょう。



厚生労働省「転倒予防・腰痛予防の取組」のインターネットサイトから抜粋

# 熱中症は命に関わる問題です！

～福島県内で、過去5年間に第三次産業において32件も  
休業4日以上の熱中症が発生しました～



第三次産業の  
熱中症予防

以下の「熱中症予防のために実施すること」を参考に、熱中症予防に取り組んでください。

## 熱中症予防のために実施すること

**WBGT 指数計 (JIS 規格適合品) を用**  
**意して職場の値を計測**し、基準値を超  
えている場合には以下の事項を実施  
しましょう。  
※屋外を移動して作業する場合には、  
環境省や気象庁の「熱中症警戒ア  
ラート」等を活用して把握してくださ  
い。

身体作業強度等に応じたWBGT基準値

区分	身体作業強度(代謝率レベル)の例	WBGT基準値	
		暑熱低化期の WBGT基準値 ℃	暑熱高化期の WBGT基準値 ℃
0 安静、楽な座位		33	32
1 低代謝率	軽い手作業(書く、タイピング、書く、縫う、彫刻)、手及び腕の作業(小さいペンチ、工具、点検、組立て又は軽いつまみ分け)、股及び脚の作業(通常の状態で乗り物の運転、フットスイッチ及びペダルの操作)、立位でのドリル作業(小さい部品)、フライス盤(小さい部品)、コイル巻き、小さい電機子巻き、小さい力で駆動する機械、2.5km/h以下の平たん(畑)な場所での歩き。	30	29
2 中程度代謝率	継続的な手及び腕の作業(くぎ(釘)打ち、鑿工)、脚及び脚の作業(トラックのオフロード運転、トラクター及び建設車両)、脚と脚の作業(空気をハンマーでの作業、トラクター駆立、しっくい塗り、中程度の重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、除草、果物及び野菜の収穫)、軽量の荷重及び手押し車を押したり引いたりする、2.5km/h～5.5km/hでの平たん(畑)な場所での歩き、搬送。	28	26
3 高代謝率	脚の脚及び腕の作業、重量の運搬、シャベル作業、ハンマー作業、のこぎり作業、深い水へのかん水かけ又はのり作業、車取り、走る、5.5km/h～7km/hでの平たん(畑)な場所での歩き、重量の荷重及び手押し車を押したり引いたりする、重物を引く、コンクリートブロックを搬む。	26	23
4 最大代謝率	最大強度の高さでも最も強い活動、おの(押)を運ぶ、重くシャベルを突いたり突いたりする、階段を走る、平たん(畑)な場所での走る、7km/h以上で平たん(畑)な場所を歩く。	25	20

WBGT 値を下げるために、作業場所や休憩場所にエアコン等を設置して使用しま  
しょう。



作業の中止や作業時間の短縮、休憩時間の延長等を行いましょう。

自由に摂取できる水分、塩分を用意し、定期的に摂取するようにしましょう。



作業開始前や休憩時間中にプレクーリングを実施して、深部体温を下げて熱中症リスク  
を低減させましよう。

### ～プレクーリングの方法～

#### 冷水(水道水等)で冷やす方法

- ①バケツや桶等に10℃～15℃の冷水(水道水くらいの温度)を入れる。
- ②約10～15分間、手、足を冷水の中に入れる



日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」より

#### アイススラリー※を飲む方法

※アイススラリーとは液体に微細な氷の粒が混じったもので、氷等を加工して作成することも可能です



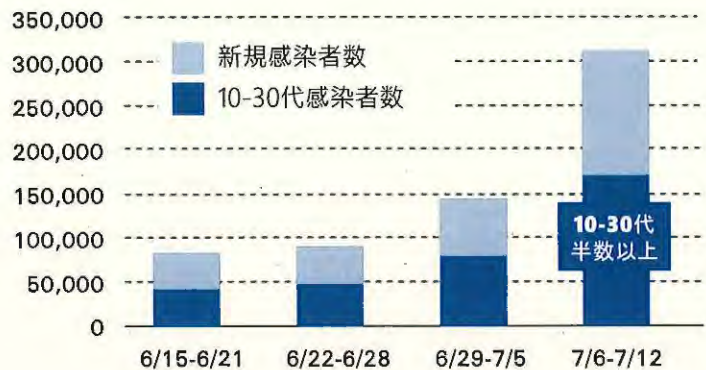
日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」より

第三次産業において発生した熱中症労働災害事例、同種労働災害防止対策  
(福島県内で発生した事例の抜粋)

業種	災害事例・同種労働災害防止対策
商業	<p>【労働災害事例】 小売店舗の倉庫（室温 32 度）で、入荷商品の荷捌き作業をしていたところ、作業開始から 4 時間程経過したところで、めまい・吐き気・意識混濁などの症状が出て倒れた。 (休業見込み 20 日)</p>
	<p>【同種労働災害防止対策】</p> <p>①倉庫であっても長時間作業を行う場合には、エアコンや扇風機を設置して使用してください。 設置できない場合には、作業開始前や休憩時間にプレクーリングを実施してください。</p> <p>②作業場所（倉庫）の WBGT 値を測定して、基準値を超える場合には、<u>作業時間 1 時間ごとに休憩する等、作業時間、休憩時間を決めて作業を行ってください。</u></p> <p>③十分な量の水分・塩分等を用意し、休憩ごとに水分・塩分等を摂取したうえで、作業中のどが渴いたら自由に摂取させてください。</p>
運送業	<p>【労働災害事例】 配送業務のため、屋外で荷下ろし作業を行い、作業中は体調不良を感じなかったが、帰社後、事務作業中にめまい・吐き気の症状が出て熱中症と診断された。(休業見込み 10 日)</p>
	<p>【同種労働災害防止対策】</p> <p>①水分、塩分等を配布して</p> <p>②自己申告のみで体調を確認するのではなく、以下の脱水症セルフチェック方法を参考に、熱中症の早期発見に努めて、早めに病院に搬送してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体温を測定して 37 度以上ある</li> <li>・皮膚をつまんで離して、もとに戻るのに 3 秒以上かかる</li> <li>・爪を押して離して、もとに戻るのに 3 秒以上かかる</li> </ul>
社会福祉施設	<p>【労働災害事例】 利用者宅で入浴業務に約 1 時間、従事していたところ、めまいの症状が出て熱中症と診断された。(休業見込み 16 日)</p>
	<p>【同種労働災害防止対策】 <u>水分・塩分を摂取するとともに、作業開始前や休憩時間中にプレクーリングを実施して、深部体温を下げて熱中症リスクを低減させてください。</u></p>

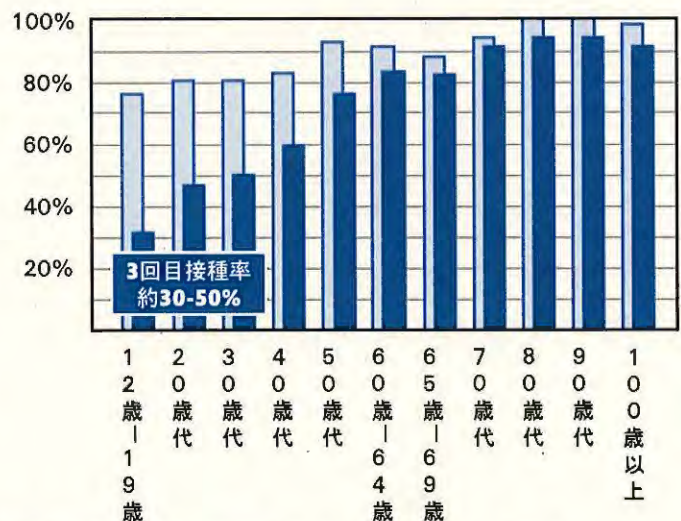
現在、若い世代を中心に感染者が急増している一方、若い世代の3回目ワクチン接種は3～5割台にとどまっています。

現在、若年層を中心に全国的に新規感染者の増加がみられます。  
(新規感染者の半数以上が10-30代)



ほぼ全世代において8割以上の方に2回目の接種を完了いただいておりますが、特に、10～30代の若年層における3回目接種率が低いことが課題です。

□ 2回目接種済率  
■ 3回目接種済率



若い方であっても、重症化したり、倦怠感などの症状が長引いたりする可能性があります。

3回目のワクチン接種は、皆様ご自身を守るだけでなく、家族、友人、高齢者など、大切な方を守ることにもつながります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 企業・団体等の皆様へのお願い

若い世代のワクチン接種促進に向けて、7、8月を「ワクチン推進強化月間」とし、政府の広報活動を強化中です。**各企業・団体等の皆様からも従業員等に対して積極的に働きかけていただけますと幸いです。**参考までに、働きかけに必要なリーフレットや参考動画のURLをご連絡させていただきますので、ご協力何卒よろしくお願い致します。

なお、働きかけるに当たっては、ワクチン接種はご本人の意思に基づき接種いただくものであるため、接種を強制したり、接種を受けていない人に差別的な扱いをしたりすることのないようお願い致します。

#### 【政府広報動画等】

- 西川きよし氏、蛍原徹氏、J01の皆様との総理対談
- 青山学院大学 原晋監督のテレビCM <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24215.html>
- ボンボンTVでの大阪大学忽那教授との対談 <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24617.html>
- 総理からのメッセージ動画 <https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg24760.html>
- 3回目接種のお知らせのリーフレット <https://www.mhlw.go.jp/content/000966240.pdf> など